

台風24号被害甚大

昨年平成三十年は日本国中が大きな自然災害に見舞われました。七月には過去に記録がない程の豪雨が西日本各地を襲い二百二十人もの方々の尊い命が犠牲となりました。九月には北海道東部を震源とする大地震が発生、崩れた土砂や倒壊した建物の下敷きとなつて四十一名の方々が亡くなられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

木は、境内で一番早く咲き濃く美しい花色で皆様に親しまれていた桜、残念でなりません。巨大な幹は周囲の樹木をなぎ倒して横たわり枝はくしやくしやに折れ曲がり龐大な量の葉が散乱していました。でもお地蔵様は無事でした。その代わりお地蔵様が抱いている赤ちゃんの頭がなくなつていきました。枝に叩かれてとれてしまつたようです。お地蔵様の門柱や外冊は倒れた

九月三十日夜通し眠れない程の風が吹き荒れた翌十月一日は嘘のように静かな朝。鐘をつくために玄関を出たところ境内の様子が違うのに気付きました。西の空が明るく広く感じました。よく見るとなんと本堂西側の墓地入口にそびえていたあの桜が倒れていたのです。幹まわり三尺もあつたでしようか。高田桜の子と云えられる江戸彼岸の大

は被害はありませんでした。奇跡のようです。お地蔵様の赤ちゃんが犠牲となつて被害を最小限にとどめてくれたようと思えました。

現在は月二回主に水曜日午後
一時半から三時頃まで練習とお
茶会を行っています。和気あい
あいの雰囲気です。ちょっと覗
いてみませんか。お待ちしてい
ます。

長泉寺梅花講便り

お寺は多くの方々の支えによって營まれています。特志寄付は、お檀家、信徒の皆様からのお申し出による真心からのご寄付です。これらの金円は長泉寺の仏具や伽藍の整備在廠に有意義に使わせていただいています。

- ・「生きていてよかった」という何かいいことがあって
- ・そのとき運良くお金があって
- ・何かお寺にいいことがしたい
- ・大切な方のご供養として

自然とこんな気持ちになった時で結構です。無理のない喜捨をお待ちしています

平成29年末～平成30年末		
石川 深谷幸男様	高張提灯一対	為先祖菩提
平田 濑谷千代子様	金一封 (龍巻特大燭台に充当)	為亡夫菩提
横浜 片寄英男様	金一封 (伽藍整備費として積立)	為先祖菩提
横浜 相田隆子様	金一封 (伽藍整備費として積立)	為先祖菩提
石川 矢内正夫様	金10万円 (境内墓地樹木植栽に充当)	為先祖菩提
石川 山中富久様	金3万円	軍手沢山 坐禅指導御礼
石川 大竹三千夫様	金50万円 (木製手彫純金箔押極上蓮華一対に充当)	為亡父50回忌
熊谷 金内 正様	金10万円 (彩色平安常花・唐金燭台各一基に充当)	為亡父母菩提
住職 西川一英様 (両祖様位牌・歴住大和尚様位牌全39基新調に充当)	金一封 古希記念	為報恩供養
石川 大竹艶子様	境内地蔵尊前掛帽子	為盂蘭盆供養
石川 庭野隆子様	参道六地蔵尊前掛帽子	為盂蘭盆供養
石川 台野宏之様	金5万円 (住職法衣に充当)	為亡父・亡叔父菩提
石川 近内正隆様	金50万円 (檜造僧形文殊菩薩像一体 元禄時代擲前机復元修理に充当)	為亡妻・亡父母菩提
石川 諸岡基幸様	金10万円 (彩色平安常花・唐金燭台各一基に充当)	為亡父3回忌
石川 緑川キチ様	金一封 (見平師雲水法衣に充当)	為亡夫、亡子菩提
石川 金内成晃様	長泉寺境内墓地詳細図作成	(額付)
中田 塩田正幸様	境内百日紅剪定奉仕作業	
石川 橋本 博様	本堂・茶所床ワックスかけ奉仕作業	
中田 濑谷寿一様	瀬谷正幸様 矢ノ目田桜周辺草刈奉仕作業	瀬谷嘉男様 塩田繁様
他に境内・参道・墓地周辺のお掃除や環境の整備に貢献 幸啓様・渡邊隆様・西川道子様、また住職・寺族が気づ かない多くの方々のご奉仕がございました。心より感謝 申し上げます		



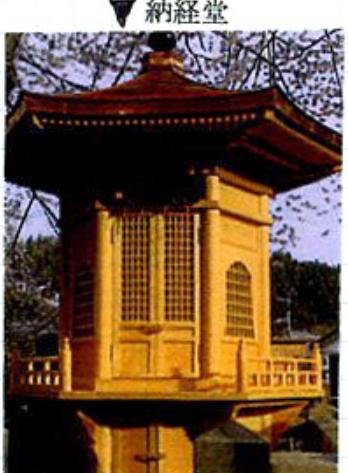
平成三十年度
ピカピカの新一年生安全祈願

境内宮について

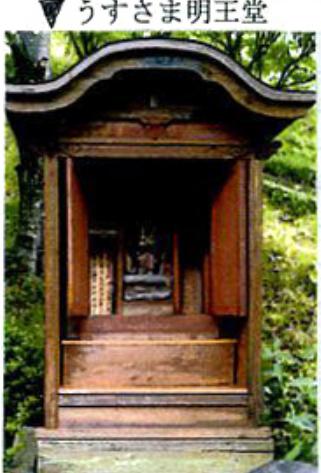
境内に三基の新しい仏堂・外宮が建立されました。



■大石下稻荷



▼ 納経堂



うすさま明王堂

國井伸行水彩画

所を併設したため庫裏檀信徒所の改築に合わせ裏庭の一角遷しました。明王堂内には萬元年と書かれた棟札も見つかました。

三つ目は本堂裏庭、枯山水上部に設けられた「うすさま王堂」です。うすさま明王と元々ヒンズー教の火神であらる穢れを焼き尽くし清める力あるとされます。長泉寺の明堂は以前は境内の外便所に祀

経堂で中にはお盆巡椄が神社に
れ納経用の桐箪笥が入っています。
す。お新盆の各家から頂戴する
新盆祠堂金で建立しました。
先祖の御供養に、心願成就、
内安全の御祈願にぜひ皆様の
経をお納めいただきたいと思
ます。写経用紙はお寺に用意
てあります。

中裏山では松根油やジルコンを採掘しましたが、その時に大木を破壊した際稻荷社も境内に遷されたとのことです。

以来幾星霜風雪に耐え現在に至りますが破損がひどくなり今回新調しました。檜の流れ屋根造りの立派なお社は、南町旭賀の矢内季吉さんが寄付してくださいました。

二つ目は墓地入口左側に建られた「六角堂」です。屋根は六尺、総高七尺檜造、銅板葺、二重垂木の堂々としたものです。このお堂は写経をお納めする社

秋彼岸の二日間、石川生ま
の國井伸行さんの水彩画展が
泉寺会館で開催され、お彼岸
墓参の方々が足を止めていま
た。國井さんは現在須賀川市
第二小学校に勤務、県展に何
も入選し将来を嘱望される新
氣鋭の地元作家です。独特の
明感のあるタッチであると
川の山河大地を彩り美しく描
ていました。